

# 消費者だより

## 役員・理事からのメッセージ

(中道 恭子)

「闇バイト」による強盗や特殊詐欺事件の報道が後を絶ちません。SNSでの「手軽で高額報酬」などの誘い文句につられて、簡単に犯罪に加担してしまう危うさ。巻き込まれるのは若者だけではありません。「荷物を運ぶ仕事」に応募したところ詐欺の「受け子」だったという中高年の逮捕事例もあります。先月6月13日に消費者庁が令和5年度版「消費者白書」を公表しましたが、昨年度の消費生活相談件数は87万件。特にSNSをきっかけとしたトラブルが過去最多で、中高年がトラブルに巻き込まれるケースが増えているとのこと。消費者トラブルはひとつではありません。被害者にも加害者にもならないために、自分は大丈夫と思いきま、日頃からいろいろな消費者トラブルについて知っておくことは大切です。



## 活動紹介 ①

### 消費者フォーラムに参加して

5月27日(土)、AOS SA(アオッサ)8階の県民ホール・アトリウムにおいて、「いきいき消費者総合フォーラム in 2023」が開催されました。開会式では、田村実行委員長からの挨拶、続いてご来賓の県防災安全部の田村副部長様からの祝辞がありました。

午前の部は3つのステージ発表があり、トップバッターは高齢者啓発劇団「くらしの一座」&勝山市しょうだんれんの皆さんによる時代劇「悪質商法にだまされんぞ!」でした。力強いピアノの生演奏から始まり、思わずステージ発表に引き込まれました。演じているのは70代と80代の皆さんで、本格的な演劇を通して消費者トラブルにあわないように啓発するものでした。後の2題は高校生による発表でした。



福井商業高校JRC部が、海岸の清掃からごみの調査をしたところ、95%がプラスチックごみであったことを知り、身近なところから脱プラスチックの取組へと発展させていく活動の発表がありました。



そして、坂井高校農業コースの生徒が、大学と連携して研究を続けてきた絶滅危惧種アゼオトギリとエチゼンダイモンジソウの保全活動についての発表がありました。



どちらも大変すばらしい内容で、若い人たちが、SDGsや身近な環境への問題意識を持って取り組む姿に感動しました。

午後の元消費者庁長官阿南久氏による「消費者市民社会の実現!～人のつながりがよりよい地域を作る～」と題する講演では、「はたして今の社会はデジタルで快適になったのか?」との問いかけから始まりました。“SNSトラブルは高齢者だけではなく若者にも多く、どこに相談に行ったらよいのか情報を持っていない。信頼できる相談先や友人がいなくなっている。会話がメールを通してとなり、直(じか)の友人がいなくなっている。地域や人とのつながりが希薄になり、生(なま)の情報が入ってこない。必要な情報は地域にある。”などのお話が心に残りました。デジタル社会で便利になりましたが、人とのアナログなつながりは大切にしていきたいと再認識しました。



8階と1階のアトリウムでは、県内の各消費者団体等のパネル展示があり、団体や高校生等の活動が紹介されました。当会からは、昨年度の活動から「今できることを工夫して!～研修旅行で食を学ぶ～」を展示発表しました。



賢い消費者であるための学びの機会でした。

## 本年度の消費者月間統一テーマと選定の趣旨

### 『 デジタルで快適、消費生活術 ～デジタル社会の進展と消費者のくらし～ 』

社会のデジタル化が進むことによって、多様なコミュニケーションやサービスの利用が可能となったことに伴い、SNSなどによる情報収集・発信やオンライン消費の普及等、私たちの生活は非常に便利になり、楽しみ方の幅は拡大しています。一方で、デジタル化に伴う新たな消費者トラブルも発生しており、デジタルサービスの仕組みやそのリスクの理解、様々な情報の正確さを見極める力や、適切に活用するための情報モラル等を身に付けることが必要です。消費者が、行政

が、行政や事業者等から得た情報を使って、自分の生活に必要なデジタル技術のノウハウを蓄え、活用していくことで、トラブルを避けながら、デジタル社会の恩恵を享受し、より豊かな消費生活を安全・安心に営むことができます。そこで、それぞれの消費者が消費生活のデジタル化を快適に進めていくきっかけとなるよう、令和5年度の消費者月間においては、「デジタルで快適、消費生活術～デジタル社会の進展と消費者のくらし～」を統一テーマとして掲げます。

## 活動紹介 ②

### きらめきフェスティバルに参加して

6月24日(土)、福井県生活学習館(ユウ・アイふくい)において、「ふくいきらめきフェスティバル2023」開催されました。今回は10時から16時までの充実プログラムが生まれ、オープニングは地元の大学生によるアカペラのコーラス、その後式典、記念講演、午後は各種体験講座等と続きました。

記念講演は『「自分らしく」を楽しく!』と題し、福井市出身で現在は朝日新聞出版が発刊している週刊誌AERAの木村恵子編集長から、ご自身がもがきながら歩んできた経験を振り返りながら、「昔の常識やみんなもこうだから」とらわれず「自分らしく生きるためにはどうしたらいいのか」等について説明がありました。講師が朝日新聞社に入社、結婚、出産、子育て、そして管理職昇任の転機において、苦労を重ねながら、「自分らしくってなに?そして楽しみながら!」を念頭に、いつも前向きに歩まれたことに感銘を受けました。



\* 講演の中から \*

~ 女性が自分らしくを選択するためのポイントは ~

- ・コミュニケーション(家庭でも職場でも)
- ・特に出産を考える女性にとって産むのは永遠の課題
- ・とにかく完璧主義にならない
- ・あまり計画を立て過ぎず、直面した課題に向き合う

午後は、映画「最高の人生の見つけ方」を鑑賞しました。ストーリーは、家庭に人生のほとんどを捧げてきた主婦と、仕事に人生のほとんどを捧げてきた女性経営者。偶然出会った二人の共通点は余命宣告を受けていること。今までそれぞれ家庭や仕事しか知らなかった二人が自分の殻を破り、最高の人生の生き方を探そううちに、やがて生きる喜びに気づくというもの。主演の吉永小百合と天海祐希が役者としての個性を存分に発揮した素晴らしい作品でした。こころを豊かにしてくれる、余韻の残る映画であり、皆様も機会があればぜひ鑑賞ください。



福井県生活学習館(ユウ・アイふくい)は何の施設?

①女性総合センターの機能と生涯学習センターの機能を兼ね備えた複合施設。②男女共同参画社会づくりを目指した活動の積極的支援と、県民一人ひとりの生涯学習の充実を図るために創られた施設。③「ユウ・アイふくい」という愛称は、平成6年度に一般公募選ばれたもの。英語のYou(あなた)と「I(私)」が語源で「友」と「愛」の意味合いも含んでおり、あなたも私も、老若男女だれもが集い、学習できる場所を表現。



## インフォメーション

### ○ 児童クラブへの出前教室

- ・開催時期：8月  
(5回予定)



・内容：

一昨年に追加した「ライフスタイルで環境を考える」を含むプログラムで、子供達と一緒に環境について学びます。

[令和3年度の出前教室模様]



### ○ 50周年記念講演

- ・開催日程：10月20日(金) 13:30~
- ・会場：敦賀市立図書館(3階研修室)
- ・演題：潜入ジャーナリストから見た詐欺・悪質商法の事例と注意点
- ・講師：多田 文明 氏  
(ジャーナリスト)
- ・その他：本講演は敦賀市が開催する「くらしの市民教室」と合同で開催。

### ○ 研修旅行

- ・本年度は50周年記念事業を開催するため計画はありません。

### ○ 会員を募集しています

- ・あなたの周りに、消協の活動に関心のある方はいらっしゃいませんか? 消協では「賢い消費者になろう」を合言葉に、研修、勉強会、啓発活動を行っています。
- ・私達の生活に役立つことを、一緒に学び実践しましょう。ご友人もお誘いいただき是非ご加入ください。

### ○ 体と環境に優しい石鹼利用を推奨しています。

- ・お問い合わせは以下までお願いします。  
☎ 藤井 真理子 ☎ 090-5179-2056

## 編集後記

いよいよ夏本番! 7月・8月は児童クラブでの出前教室の季節です。昨年度はコロナ禍のため初めて中止にしましたが、今年は元気いっぱいの子供たちとの触れ合いを楽しみにしています。

